

第16回ヘルスケアcafe ヘルスケアビジネス研究会

一人でも多くの方が、その人らしく



株式会社ライフデザイン・フローラ

LIFE DESINE FLORA


会社概要

- 会社名：株式会社ライフデザイン・フローラ
- 資本金：1450万円
- 設立日：2012年9月3日
- 代表者：前田智之 趣味は、人や組織の出会いを提供する事、アメリカンフットボール、お酒を飲みながら将来を語り合う事、
- 経営理念：「一人でも多くの人が、その人らしく」
- 事業方針：
 - 福祉の理念と、資本主義の理念を両立させ、高潔な心を持って事業を推進する
 - 超高齢者社会が進む日本において、在宅介護を中心にサービスを提供する
 - 地域やパートナーとの連携を推進する
 - 雇用を促進し、人材の育成を強化する
 - 海外展開を行い、現地貢献と日本への還元を行う



Innovative Healthcare Company From Japan

フローラの拠店

 **フローラ用賀** 訪問介護、居宅介護支援、障害者支援

〒158-0095 世田谷区瀬田2-23-11 ビスタリアハイツ101

TEL:03-6411-7492 FAX:03-6411-7493

 **フローラ千歳船橋** 訪問介護、障害者支援

〒156-0055 世田谷区船橋1-30-11 パルデンス西村103

TEL:03-6432-6725 FAX:03-6432-6726

 **フローラ千歳烏山** 訪問介護 障害支援(10月開業)

157-0062 世田谷区南烏山6-38-10 ピュアエリートマンション202

 **(株)ライフデザイン・フローラ**

- フローラ・ホーム・サポート コンサルティングサービス

〒158-0095 世田谷区瀬田2-23-11 ビスタリアハイツ101

TEL:03-6411-7492 FAX:03-6411-7493

E-Mail:info@ld-flora.co.jp HP:<http://www.ld-flora.co.jp>



医療・介護の現況と見通し

お金の問題

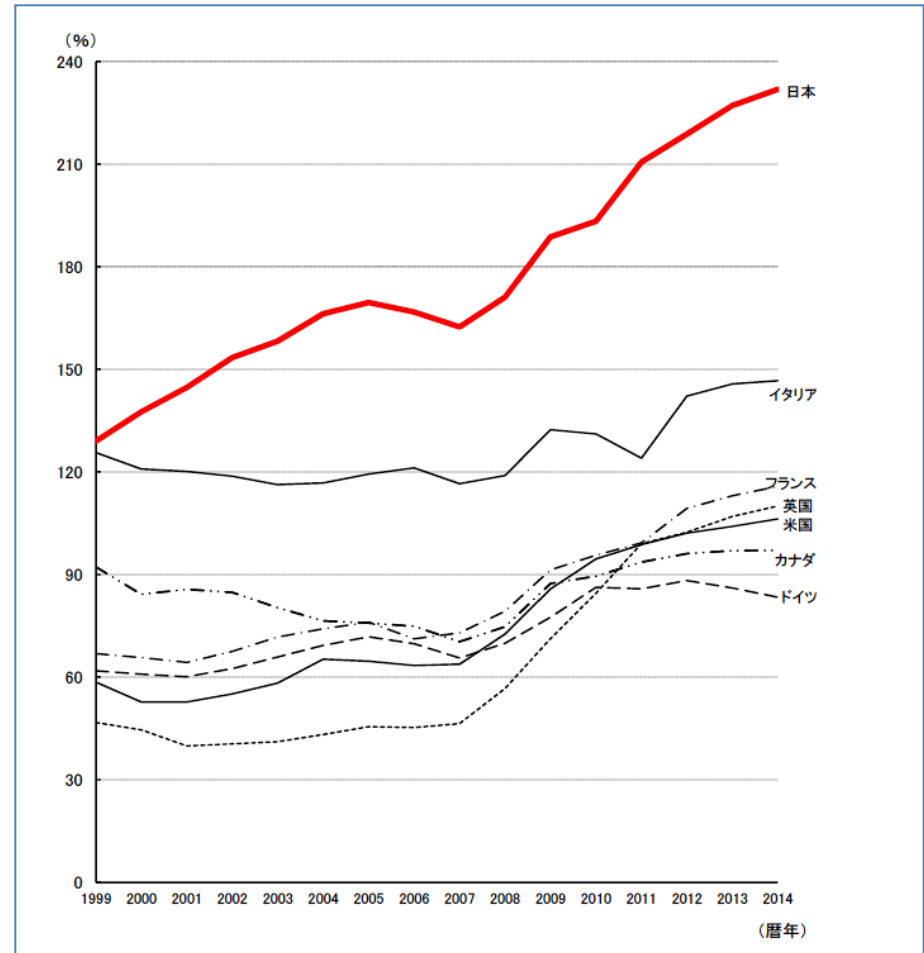
日本の財政状況

GDP約450兆円
税収約 50兆円(H26年度予算)
社会保障費約100兆円
公債約1,000兆円

こうした中で、既存の社会保障の安定財源を確保するとともに、社会保障の機能強化を図るためには、税や社会保険料の負担増は避けられないが、こうした負担について国民の納得を得るとともに、持続可能な社会保障を構築していくためには、同様の政策目的を最小の費用で実施するという観点から、徹底した給付の重点化・効率化が求められる。

* 第20回 社会保障制度改革国民会議
議事次第

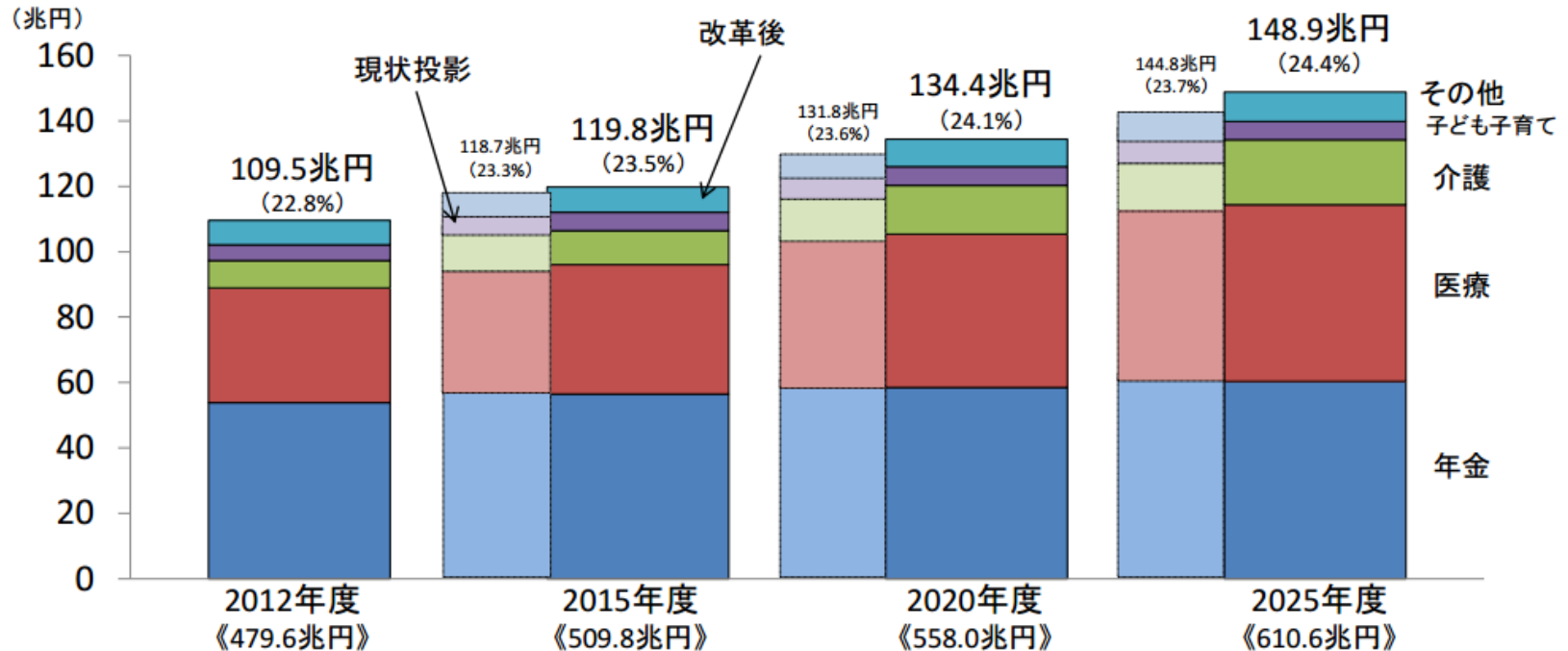
債務残高の国際比較(対GDP比) 財務省HPより



社会保障に係る費用の将来推計について《改定後(平成24年3月)》

○給付費に関する見通し

給付費は2012年度の109.5兆円(GDP比22.8%)から2025年度の148.9兆円(GDP比24.4%)へ増加。



注1:「社会保障改革の具体策、工程及び費用試算」を踏まえ、充実と重点化・効率化の効果を反映している。

(ただし、「Ⅱ 医療介護等 ②保険者機能の強化を通じた医療・介護保険制度のセーフティネット機能の強化・給付の重点化、逆進性対策」および「Ⅲ 年金」の効果は、反映していない。)

注2:上図の子ども・子育ては、新システム制度の実施等を前提に、保育所、幼稚園、延長保育、地域子育て支援拠点、一時預かり、子どものための現金給付、育児休業給付、出産手当金、社会的養護、妊婦健診等を含めた計数である。

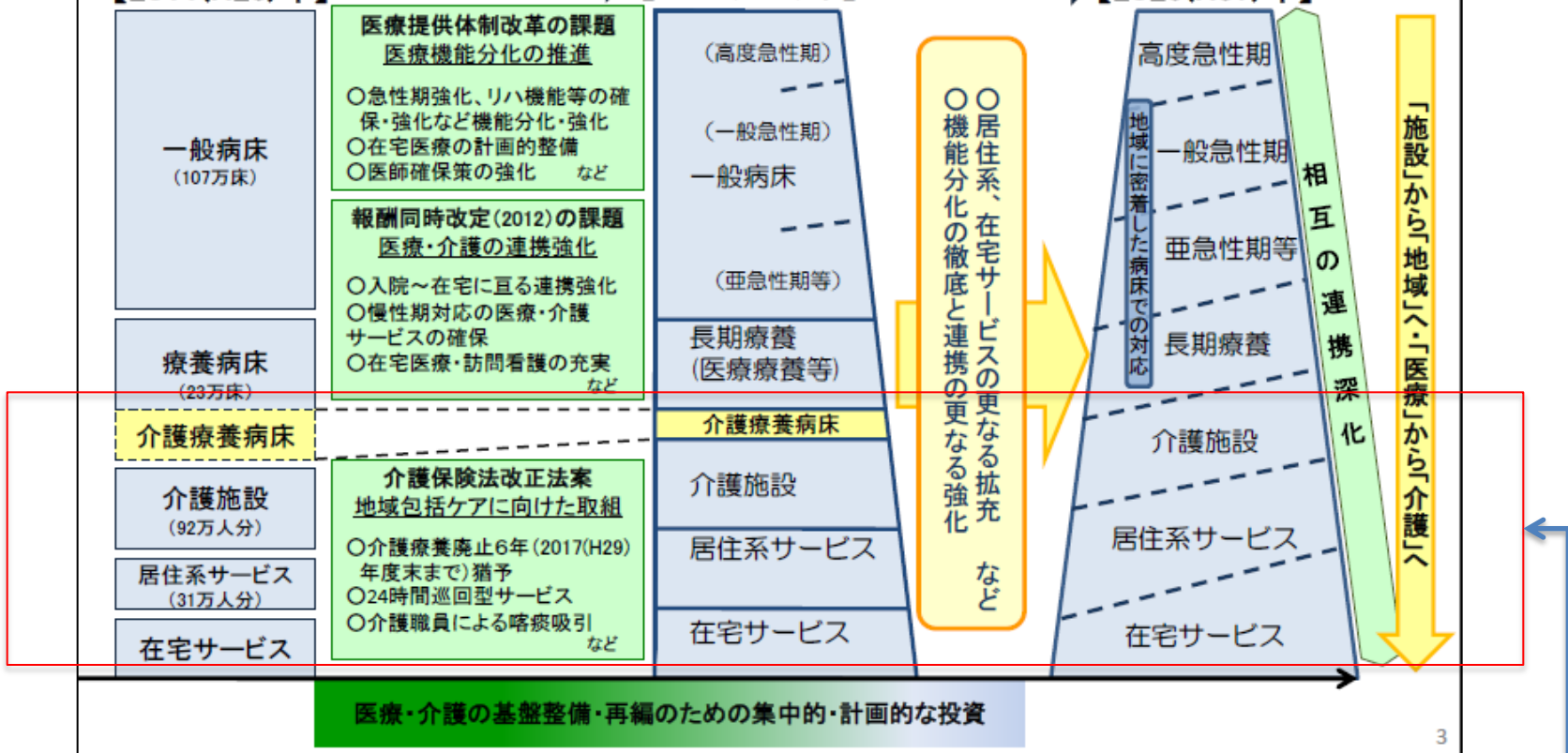
注3:()内は対GDP比である。《 》内はGDP額である。

将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ

○ 病院・病床機能の役割分担を通じてより効果的・効率的な提供体制を構築するため、「高度急性期」、「一般急性期」、「亜急性期」など、ニーズに合わせた機能分化・集約化と連携強化を図る。併せて、地域の実情に応じて幅広い医療を担う機能も含めて、新たな体制を段階的に構築する。医療機能の分化・強化と効率化の推進によって、高齢化に伴い増大するニーズに対応しつつ、概ね現行の病床数レベルの下でより高機能の体制構築を目指す。

○ 医療ニーズの状態像により、医療・介護サービスの適切な機能分担をするとともに、居住系、在宅サービスを充実する。

【2011(H23)年】 → 【2015(H27)年】 → 【2025(H37)年】



キュア(Cure)からケア(Care)へ、医療から介護へ
施設、病院から在宅へ

「ご当地医療」に大転換
増やすのは生命の「量」から「質」に

これまでの医療 (1970年代モデル)	これからの医療 (2025年モデル)
● 体を治す医療	● 生活を支える医療
● 病院完結型	● 地域完結型
● 入院医療	● 在宅医療
● 救命、延命、治療	● 病気(合併症)と共存
● 社会復帰	● QOL(生活の質)、QOD
● 寿命 60歳代	● 寿命 80歳代

看取り場所の推移

今後の看取りの場所

厚生労働省老健局 老人保健課長鈴木康裕氏作成



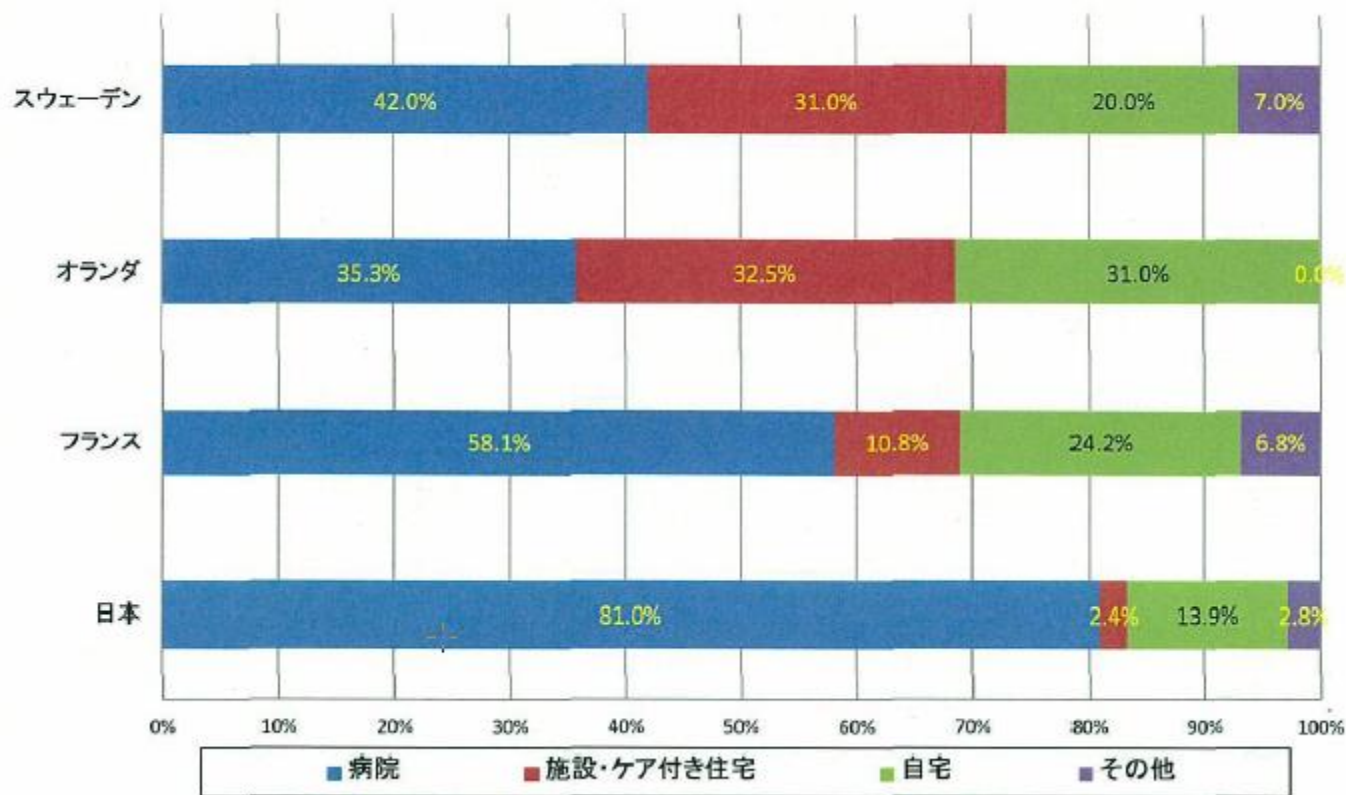
【資料】
2006年(平成18年)までの実績は厚生労働省「人口動態統計」
2007年(平成19年)以降の推計は国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2006年度版)」から推定

※介護施設は老健、老人ホーム

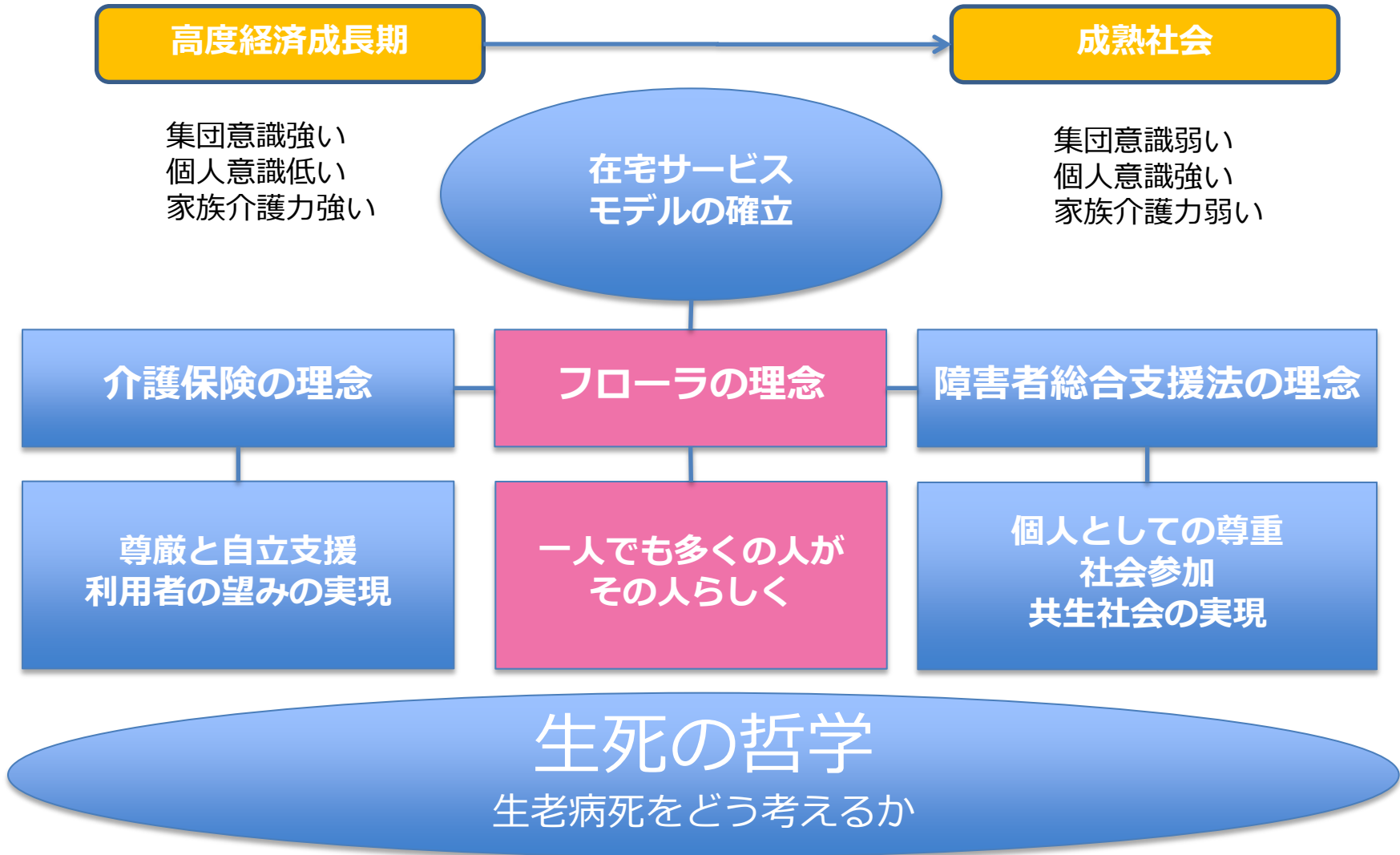
15

日本の死亡場所はこのままでよいのか

要介護高齢者の死亡場所の国際比較・（医療経済研究機構調査・1995～2001年）



「我を問う」時代での在宅介護モデルの確立



全人的に考える

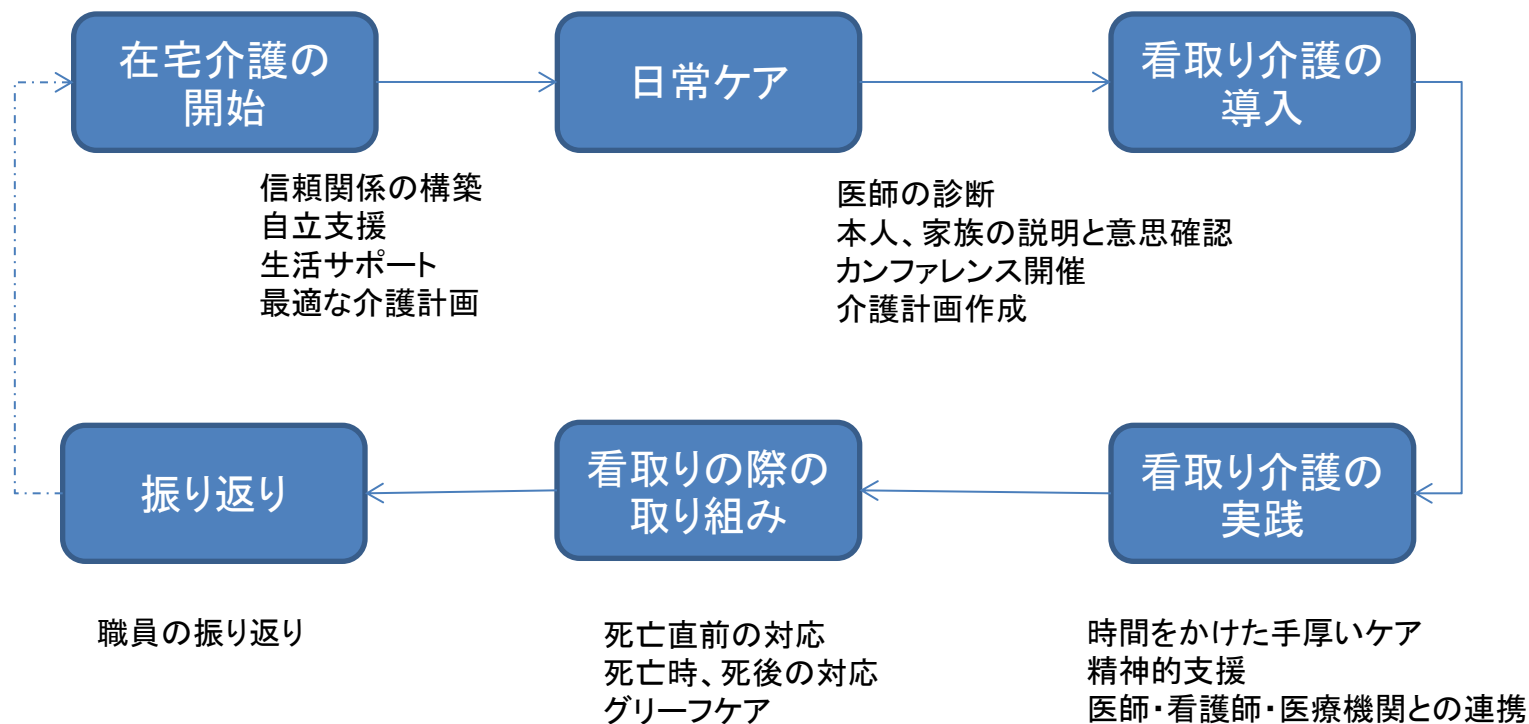
不可視	思考	心
可視	身体	器官
自己	意識 (自我)	無意識

からだ(苦しくない) ころ(安心) たましい(平安)

はげます → ささえる → よりそう

在宅ホスピス

- 看取りは「点」ではない
- 看取り介護は特別なものではなく、日常の延長



医療・介護の現況と見通し

人の問題

1(13)

介護職員の推移と見通し

- 介護保険制度の施行後、介護職員数は増加し、12年間で約3倍となっている。また、2025年には、237～249万人の介護職員が必要と推計されている。

	平成12年度 (2000年度)	平成24年度 (2012年度) (推計値)	平成27年度 (2015年度) (推計値)	平成37年度 (2025年度) (推計値)
介護職員	55万人	149万人	167～176万人(注) (164～172万人)	237～249万人 (218～229万人)

注) 平成27年度・平成37年度の数値は社会保障・税一体改革におけるサービス提供体制改革を前提とした改革シナリオによる。()内は現状をそのまま将来に当てはめた現状投影シナリオによる数値。

2015年、2025年の推計値に幅があるのは、非常勤比率の変動を見込んでいることによるもの。

【出典】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」、「医療・介護に係る長期推計(平成24年3月)」

(平成24年10月1日現在)	訪問系			通所系			入所系			小規模多機能型 居宅介護など					
	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤			
介護職員	153.2万人	93.0万人	60.2万人	43.8万人	12.8万人	30.1万人	28.1万人	16.0万人	12.1万人	77.4万人	61.6万人	15.8万人	3.8万人	2.5万人	1.3万人
		60.7%	39.3%		29.2%	68.7%		56.9%	43.1%		79.6%	20.4%		65.8%	34.2%

【出典】厚生労働省「平成24年介護サービス施設・事業所調査」

人材不足

➤2025年までに100万人の介護従事者の増加が必要

➤施設

➤安定 安心

➤きつい 飽きる

➤在宅

➤やりがい 飽きない

➤不安定 不安

介護は人材不足が深刻な問題

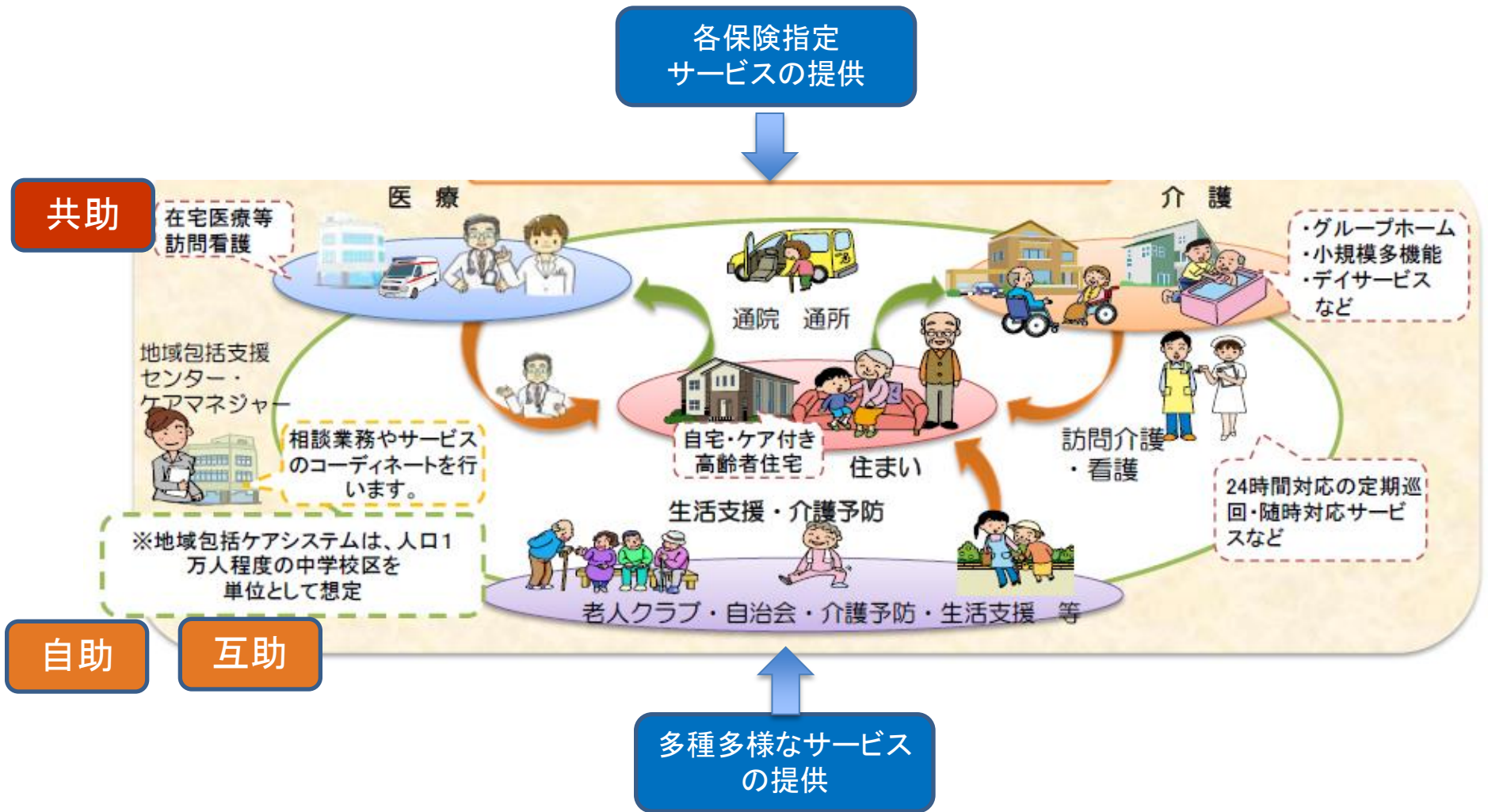
- 介護での、IT人材の採用・育成
 - 介護との、IT会社、IT人材との協業
 - 介護への、他業界からの参入
 - 介護から、他業界への離脱防止
-
- 日本が、外国人を受入れる

介護 & エンジニア人材



アライアンスの取組み モノ・サービスの問題

アライアンスと地域包括支援システムとの関連性



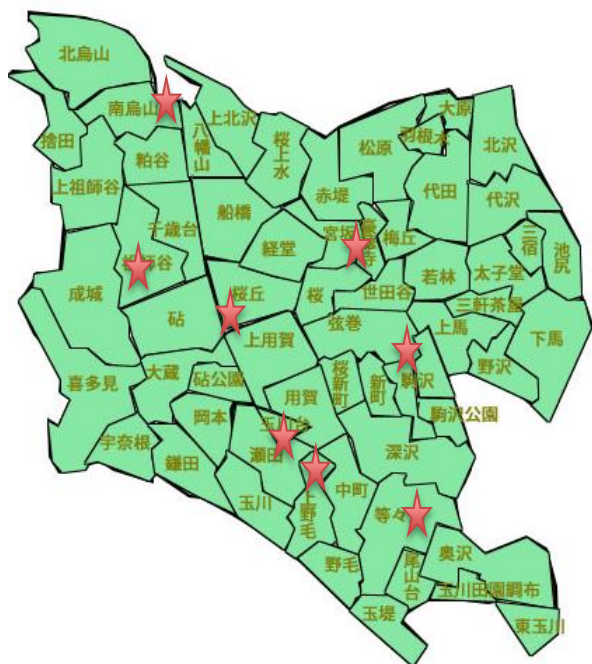
多種多様なサービスをアライアンスにより、育成する事により、自助、互助を充実させ、共助の負担を軽減させていく。共助と自社互助のサービスの連携促進による付加価値の向上

在宅アライアンス

想定パートナー	
社会保障給付対象	社会保障給付対象外
生活ライン <ul style="list-style-type: none">・ 訪問介護・ 居宅介護支援・ デイサービス・ 施設介護・ 福祉用具	<ul style="list-style-type: none">・ 見守り電話・ 見守り器具・ 訪問シーツ交換・ 家事代行・ 宅配弁当・ 介護食・ レクリエーション
専門ライン <ul style="list-style-type: none">・ 在宅医療・ 訪問看護・ 訪問薬剤・ 訪問栄養・ 訪問歯科	<ul style="list-style-type: none">・ 民間保険・ 成年後見人・ 相続・ リバースモーゲージ・ 遺品整理・ 葬儀

同業アライアンス 異業種アライアンス

- 地域同業アライアンス



- 異業種アライアンス



Dream Concierge Club®



フローラ・ホーム・サポート メニュー



- 宅配弁当: 出汁と米にこだわり、味に重点を置いた弁当。月1回でも利用可能
- 定期シーツ届け: 一流ホテルの高級素材のシーツ、布団カバー、枕カバーをお届け1回2,300円
- ベッドクリーン: ベッドマット、ベッドパットのダニやカビとりを強力な除菌で。1回2,500円
- 布団丸洗い: 敷布団、掛布団など1枚3,000円
- 訪問服薬指導: 薬剤師が自宅まで薬を届け、薬の管理や飲みあわせチェック、服薬指導
- 訪問理容: 要介護3以上の人は年間6回までは世田谷区助成の活用で1回1,000円
- 見守り電話: 毎週2回、担当者が電話する。認知症早期発見も可能。最初の3か月は月3000円
- 家事代行: 清掃から、アイロン、靴磨きなどあらゆる家事全般1時間約3,000円
- 訪問栄養: 栄養士が自宅へ訪問して、栄養指導、治療食対応、食事管理などを行う
- 介護予防ゲーム: 高齢者施設などに、簡単操作で楽しくトレーニング
- 見守り端末: 離れて暮らすひとり暮らしの高齢者の様子とお部屋の様子を確認するための見守り端末
- 訪問歯科: ご自宅での歯科治療や口腔ケア
- 音声認識人形: 季節によって話の内容も変わる、相互会話ができる人形

デバイス、アプリ、
インターネットの
活用と管理

情報の問題

いつでも、どこでも、だれでも の情報共有と活用

– 利用者心理

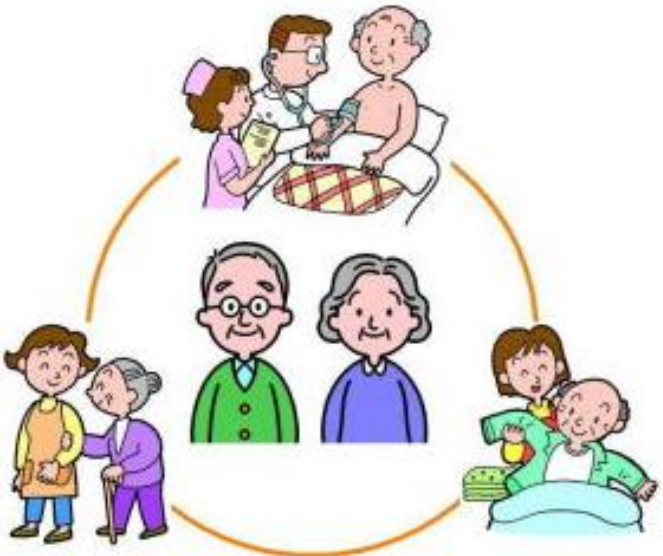
- 在宅は満足度
- 施設は安心度

– 提供者心理

- 在宅は不安
- 施設は不満

– プライバシーの問題

– リテラシーの問題



独自開発は、コストがあわず、汎用アプリを使っての情報共有が大半

ウェアラブルデバイス

- 介護とウェアラブルデバイスの親和性は高い
- 課題は多いが、普及する必要性が高い
- サービス提供側のニーズも高い
 - ハンズフリーが魅力
 - デバイスの装着性、情報の即時性がポイント